

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 5 月 22 日

都道府県知事 川勝 平太殿

提出者 フクデ化学工業株式会社

住 所 静岡県磐田市塩新田582番地18

氏 名 代表取締役 堀尾 一志

電話番号 0538-58-0318

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フクデ化学工業株式会社
事業場の所在地	静岡県磐田市塩新田582番地18
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類： 製造業 中分類： 化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額 90000万
③ 従業員数	43人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり（別添1及び別添2）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(管理体制図) 別紙のとおり (別添3)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙の通り (別添4)

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	1183.03 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり (別添4)		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 事業系の廃棄物は、従前より種類毎に分けて、処理業者に委託処分している。一般廃棄物は、分類表に従い分別を実行中。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も事業系の廃棄物は種類毎に分けて、処理業者に委託処分する。一般廃棄物は、分類表に従い分別を実行する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  特にしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  特にしていない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		別紙のとおり（別添5）
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)  委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施する。		

②計画	【目標】 別紙のとおり (別添5)		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
可能な限り優良認定業者へ処理委託を進める。			
※事務処理欄			

(第6面)

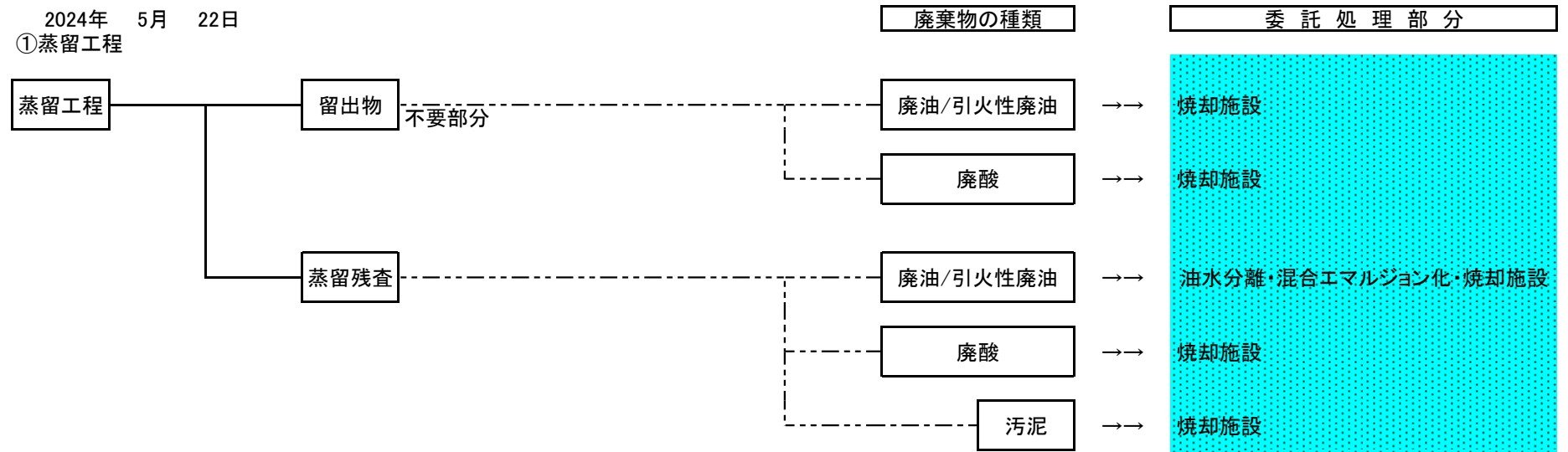
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

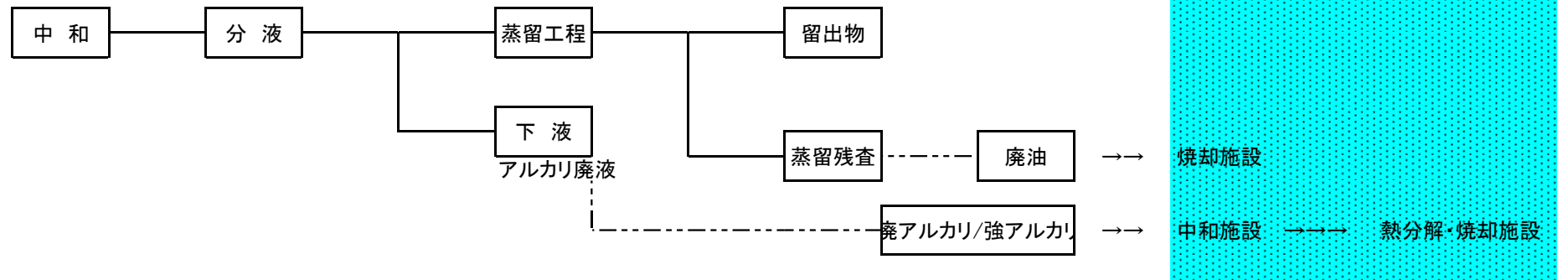
# 別添1: 廃棄物処理フローシート

主要な発生フロー

2024年 5月 22日  
① 蒸留工程



② 中和+蒸留工程

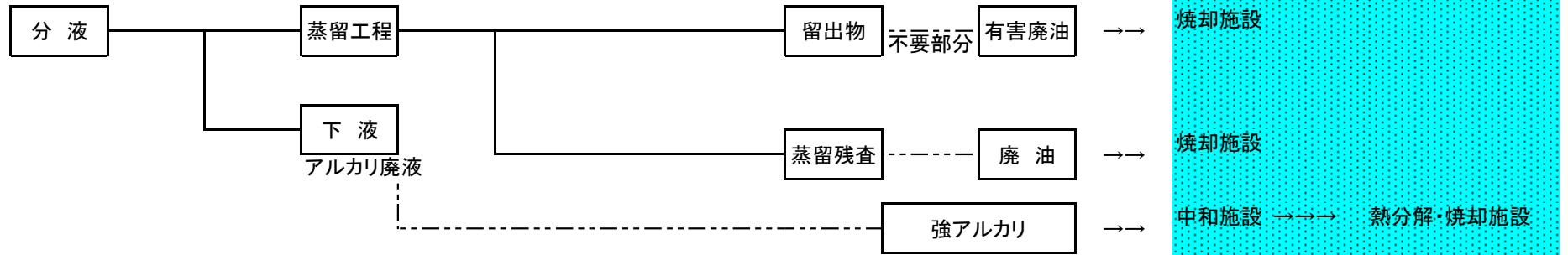


## 別添2: 廃棄物処理フローシート 2

主要な発生フロー

2024年 5月 22日

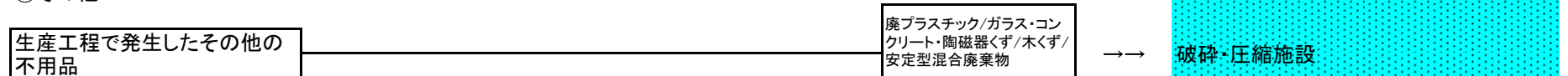
### ③分液+蒸留工程



### ④反応+蒸留工程



### ⑤その他

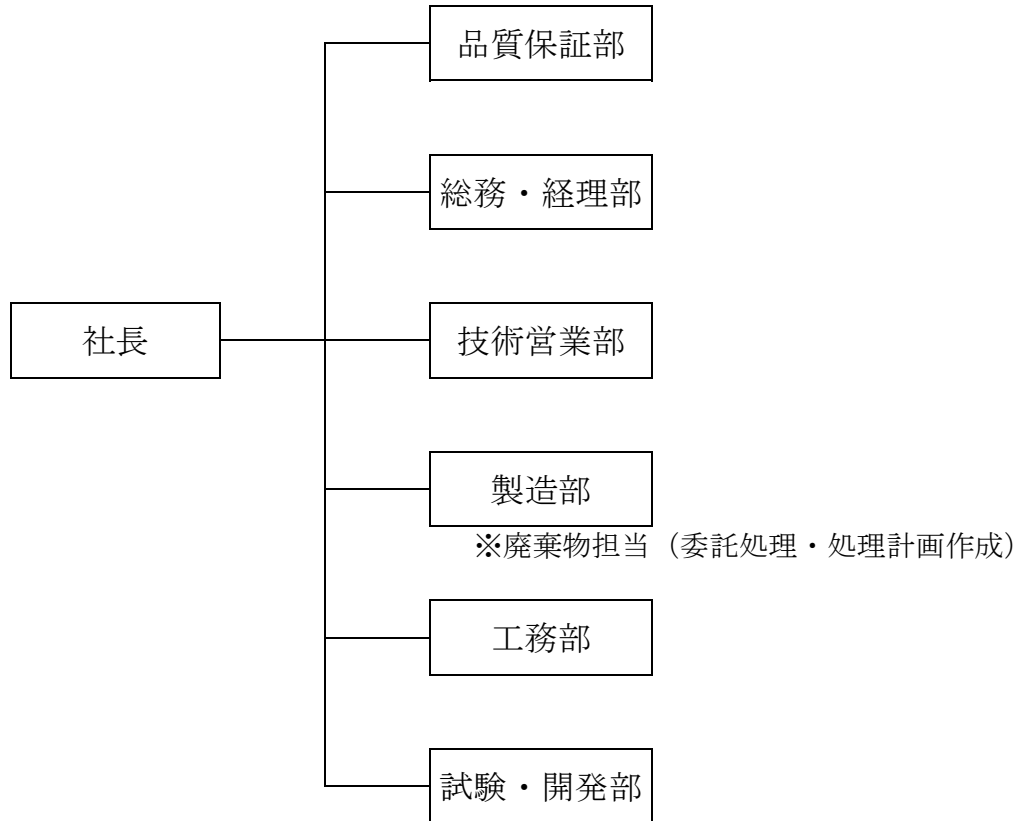




(別添3)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(別添4)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	安定型混合廃棄物	がれき類	汚泥
	排出量	233.94t	879.80t	3.70t	8.37t	2.00t	25.65t	1.08t	16.28t	12.21t
(これまでに実施した取組)										
自社の生産量が増えたが、生産工程および洗浄工程のデータ分析をして無駄な処理を省き、廃棄物の量を減らした。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	安定型混合廃棄物	がれき類	汚泥
	排出量	400	1100	20	30	10	30	20	20	40
(今後実施する予定の取組)										
生産工程及び洗浄工程を出来る限り見直し、廃棄物の減量に努める。 また廃棄物の分別に努め、再利用できるものを管理し、廃棄物排出の抑制を図る。										

(別添5)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
【前年度（令和5年度）実績】										
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	安定型混合廃棄物	がれき類	汚泥	
①現状	全処理委託量	233.94t	879.80t	3.70t	8.37t	2.00t	25.65t	1.08t	16.28t	12.21t
	優良認定処理業者への処理委託量	212.18t	578.82t	0.00t	2.77t	0.00t	1.65t	1.08t	16.28t	9.41t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
<p>(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施する。</p>										
【目標】										
産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず	安定型混合廃棄物	がれき類	汚泥	
②計画	全処理委託量	400t	1100t	20t	30t	10t	30t	20t	20t	40t
	優良認定処理業者への処理委託量	350t	700t	20t	1t	0t	10t	1t	10t	40t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
<p>(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者への処理委託を進める。</p>										